

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	【留】日本語ⅡA(0585)	
科目基礎情報							
科目番号	4E09		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	教員が準備する。						
担当教員	馬場 亜紀子						
到達目標							
日本語の応用を正確に行えるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		中学校から高校の「読む、聞く、話す、書く」がよくなる。		中学校から高校の「読む、聞く、話す、書く」ができる。		中学校から高校の「読む、聞く、話す、書く」ができない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ディプロマポリシー DP6							
教育方法等							
概要		【開講学期】春学期週4時間 言語の4要素「聞く、読む、話す、書く」が、日本語で正確に、中学校程度のことができるようにする。					
授業の進め方・方法		言語の4要素「聞く、読む、話す、書く」について、「朗読を聞きまとめる、小説などを読む、プレゼンテーションをお行う、トピック展開」を繰り返し練習する。					
注意点		教員がプリントを用意する。					
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	1 聞くことについては、20分～30分の朗読を聞き、どんな話だったのかをまとめる。			朗読を聞いて、話の内容をまとめることができる	
		2週	2 読むことについては、小論文・新聞・小説などを読む。			小論文・新聞・小説などを読んで内容を把握できる	
		3週	3 話すことについては、プレゼンテーションを行う。			自らの考えを他者に伝えることができる	
		4週	4 書くことについては、トピックセンテンスを展開することをまなぶ。			トピックセンテンスを展開することを把握できる	
		5週	5 日本語能力試験2級～1級の過去問題をやり、総合力のアップの度合いをチェックする。			自らの日本語能力のレベルを把握できる	
		6週	プレゼンテーションの話をするときに小論文・新聞・小説などを読んだことを引用するなど相互にほかの技術を必要としているので、組み合わせによりさまざまな問題を作る。			元になる資料を引用しながらプレゼンテーションができる	
		7週	到達度試験				
	8週	答案返却とまとめ					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験		授業		合計	
総合評価割合		50		50		100	
基礎的能力		50		50		100	
専門的能力		0		0		0	
分野横断的能力		0		0		0	